

## 平成28年度第6回江東区外部評価委員会

1 日 時 平成29年3月28日(火)  
午後7時08分 開会 午後8時00分 閉会

2 場 所 江東区役所 7階 第71会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

吉 武 博 通	塚 本 壽 雄
植 田 みどり	藤 枝 聡
布 施 伸 枝	宮 澤 正 泰

#### (2) 事務局

政策経営部長	押 田 文 子
経営政策部企画課長(行政管理担当課長兼務)	武 田 正 孝
経営政策部財政課長	武 越 信 昭
経営政策部計画推進担当課長	日 野 幸 男

4 傍聴者数 なし

### 5 会議次第

1. 開会

2. 議題

- (1)「江東区長期計画の展開2017」の策定について
- (2)平成29年度外部評価委員会スケジュール(案)について
- (3)他区の行政評価について

3. その他

4. 閉会

## 6 配付資料

- ・資料1 江東区長期計画の展開2017（案）
- ・資料2 平成29年度当初予算における行政評価結果反映事業
- ・資料3 当初予算における各施策の行政評価結果反映状況
- ・資料4 平成29年度行政評価スケジュール（案）
- ・資料5 江東区長期計画施策一覧
- ・資料6 他区行政評価実施状況
- ・参考1 平成29年度江東区予算（案）概要（平成29年2月）

午後 7時08分 開会

○委員長 ただいまより、第6回江東区外部評価委員会を開会いたします。年度末のお忙しいところご出席いただきまして、どうもありがとうございます。

今日は、ご欠席はいらっしゃらないですね。それから、傍聴者の方もいらっしゃらないということでございます。

初めに、お手元の資料の確認をお願いします。席上にごございます会議次第に配付資料の記載がございますので、不足がございましたら事務局のほうにお知らせいただきたいと思います。

それでは、次第に沿いまして委員会を進めたいと思います。

まず、議題1「江東区長期計画の展開2017」の策定について、事務局からご説明をお願いします。

○事務局 それでは、江東区長期計画の展開2017（案）についてご説明をさせていただきます。

昨年8月、当委員会より外部評価結果報告書を頂戴いたしました。区では、その外部評価結果を踏まえまして、区の最終評価であります二次評価を、予算要求に合わせまして、9月に行いました。そして、それを各部に評価結果を通知したところでございます。評価結果につきましては、可能な限り予算への反映を図ることとしてございます。

本日、資料1としてお配りしてございます「江東区長期計画の展開2017（案）」は、評価結果を踏まえたところでの、当初予算における新たな取り組みや事業の見直しなど、長期計画の視点から平成29年度当初予算（案）の内容を取りまとめたものとなっております。

本日は、資料1、2及び3を使いまして、区の最終評価である二次評価や、評価結果に基づく新たな取り組みや事業の見直しの主な内容についてご説明させていただきます。

それでは早速でございますが、資料1を1枚おめくりいただきまして、表紙をおめくりいただきますと区長挨拶がございまして、その次のページに目次を掲載してございます。

本冊子の構成ですけれども、第2章におきまして、本区の総合計画であります長期計画（後期）の計画期間における財政計画を示してございます。第3章では、本区の2つの重要課題と7つの重点プロジェクトの取り組みを示してございます。第4章では、特に重点的に取り組むべき事業として位置づけられました主要事業の計画期間における年次計画や事業費等についてお示しをしているところでございます。また、第5章では、平成29年度

当初予算における新たな取り組みを、第6章では、外部評価を含む各施策の行政評価結果や当初予算における事業の見直し等についてお示しをするものでございます。昨年の8月、外部評価委員会におきまして、この部分、ご説明させていただいておりますけれども、改めて第6章の施策評価シートを用いた評価から予算編成・反映までの流れについてご説明させていただきます。

少々飛びまして196ページをお願いいたします。施策33、地域防災力の強化となっております。今年度、外部評価対象施策として、吉武委員長を班長といたしますA班で評価いただいた施策となっております。本施策におきましては、防災意識の醸成や災害時における地域救助・救護体制の整備に取り組むほか、災害時の避難所等における環境整備などに取り組むとしてございます。

197ページの、網かけになった部分でございしますが、6の一次評価をごらんいただきたいと思います。この一次評価の部分につきましては、施策の主管部長による評価でございます。この部分で、下のほうですが、(3)今後5年間の施策の取り組みの方向性におきまして、2行目のところでございしますが、「多岐にわたる取り組みの中でも「地域防災力向上」に引き続き取り組んで行くことを地域連携体制の構築、避難行動要支援者対策、避難所運営体制の強化、備蓄物資の整備、災害時協定の締結、防災に関する啓発活動等を着実に進めていく。」などの方向性が示されてございます。

外部評価といたしましては、次の198ページに記載してございます。7の外部評価委員会による評価の④施策の総合評価におきまして、イの方の3行目のところでございしますが、「行政の役割を明確化し地域防災力の強化をしていくことが重要である。」という評価を頂戴したところでございます。

これを受けまして、次の199ページに二次評価、これは主管部長の一次評価、それから外部評価委員会の評価結果を踏まえた最終結果でございしますが、こちらのほうで二次評価としてまとめてございます。2つ目のところでございしますが、「江東区地域防災計画に基づき、災害時における地域救助、救助体制の確保や高齢者等災害弱者に対する具体的対応策、民間との役割分担や協働体制の検討など、区として取り組むべき課題について、着実に実施する。」などの評価を行ったところでございます。

こうした二次評価を受けまして、平成29年度において新たな取り組みを行うこととしてございます。

具体的には、また飛んで恐縮でございしますが、84ページをお願いいたします。この部分

におきましては、平成29年度に新たに取り組む主な事業を再掲しておりますが、上から3つ目のところ、災害対策資機材整備事業におきまして、区内全拠点避難所にクワトロトイレの導入を決定したところでございます。既にご案内かと思えますけれども、クワトロトイレは組み立て用の小便器でございます。地震などの避難所に仮設のトイレがあるんですけれども、個室となっていますと男女とも長い列ができてしまうというところがございます。クワトロトイレですと、ある意味4方向から男子が小用に入れるというものでございまして、ある程度人数がはけるといってもございまして、こういったものを導入することといたしました。

このクワトロトイレの区内全拠点避難所への整備によりまして、大小兼用で使用していた男性用トイレの割合を減らしまして、女性用個室トイレの割合を増やすことで利用者の渋滞の解消が期待されているところでございます。

これはあくまで一例でございますけれども、こうした内部の一次評価、外部評価を踏まえまして、二次評価によりまして施策を実現するための取り組みを進めておるところでございます。

ただいまご説明しましたような評価結果を29年度当初予算に反映させた事業でございますけれども、資料2のほうで、行政評価結果反映の状況をまとめて一覧にしておりますので、そちらをご説明させていただきます。

資料2「平成29年度当初予算における行政評価結果反映事業」でございます。細かくて恐縮でございます。表の見方でございますが、行政評価結果を反映させた事業が施策順に掲載されてございます。左から1番目が番号、2列目は施策となっております、それぞれ記載をしているところでございます。

今年度、外部評価をいただいた施策につきましては、2ページ目に出てまいりますけれども、網かけをした部分が今年度、外部評価をしていただいております。

また1枚目にお戻りいただきまして、資料の見方でございます。左から3列目に事業名が記載されてございますけれども、事業名の隣の「長期計画の展開2017」という欄がございます。こちらは、先ほど資料1でございました展開2017において、新たな取り組みや事業の見直しと位置づけたものについては○を示しているところでございます。

その隣の列、取り組み内容、影響額でございますけれども、こちらにつきましては、次の「取り組み・見直しに反映した評価」の欄には、関連する外部評価、二次評価の内容を記載しているところでございます。

なお、昨年度の外部評価結果を反映している場合は、1番目のこの外部評価の欄にございます「平成27年度外部評価」ということで、これは前年度外部評価を反映した部分につきましては、こうした「平成27年度外部評価」という形で記載をしているところでございます。

また来年度、平成29年度外部評価いただくものにつきましては、この欄が斜線で示されているところでございます。

表の最後のほうにございますが、右から2列目の「見直し・廃止」欄、こちらは二次評価結果の通知と合わせまして、私ども政策経営部のほうから各所管のほうに事業の見直しや廃止を提案した事業となっているところでございます。その内容につきまして記載をしているところでございます。

それから最後の列ですが、「予算（案）概要」、こちらは参考1として、今日お配りしてございますが、その中で、拡充や新たな取り組みという中でどのように位置づけているかというものを示したものとなっております。

この資料2で簡単にご説明をさせていただくと、2ページをごらんいただきたいと思います。番号で言いますと11番、上から2番目になりますけれども、施策の7、子育て情報発信事業でございます。こちらは今年度外部評価をいただいた事業になってございます。こちらの外部評価の部分でございますけれども、「ハード面の整備とソフト面での質の改善も期待したい。利用や参加できていない人々へのアプローチが課題である」と意見を頂戴したところでございます。

これを踏まえまして、区のホームページにございます子育て情報ポータルサイトに「リフレッシュひととき保育」の空き情報表示機能を追加してございます。これはちょっと細かいことで恐縮でございますけれども、通常保育園を利用していない方で、家庭において突然の用事などで急に保育園の利用が必要となった場合、空き施設を利用するんですが、これまでは電話で問い合わせしないとできないようになってございました。それを、ホームページのほうで表示してネットで確認できるものという形で改めたところでございます。こうした点も細かいところでございますけど、評価の結果を踏まえまして反映したところでございます。在宅で育児する親の息抜きとして利用の要望が多い子供の一時預かりの利便性の向上や、まだ利用したことがない方へのアプローチについて、こうした形で改善を図ったところでございます。

次に、4ページをごらんいただきたいと思います。一番上の番号23、施策番号で言いま

すと18の図書館管理運営事業でございます。こちら右から4列目、外部評価の欄をごらんいただきますと、ちょっと細かいんですが5行目、「誰に対してどのようなサービスを行政が提供することが区民ニーズに対応し、効果的な行政運営となるのか考えた取り組みを期待したい」と意見を頂戴したところでございます。これらを踏まえまして、取り組み・見直しの内容をごらんいただきたいと思っておりますけれども、図書館利用者の利便性向上のため、これまで休館となっておりました月曜日の開館を月2回試行的に実施することといたしました。試行実施期間中には利用者アンケートをとりまして、区民ニーズとしてどの程度月曜が使われるのかといったところも把握した上で、本格実施に努めていきたいと思っております。

このような形で課題やご意見を、29年度予算に反映をしているところでございます。

資料2の最後のページをごらんいただきたいと思っております。9ページでございます。番号、最後に63番とございますけれども、このように、今回の平成29年度予算におきましては、行政評価結果を反映したものが全体で63事業行っているところでございます。また、この表の下の部分でございますけれども、影響額といたしましては、新たな取り組みとしては38億円余、事業の見直しとしては1億円余ということで、影響額としましては39億円余となっております。こちらはあくまで予算面で見たとの行政評価結果の反映でございますけれども、私どもとしましては、予算には出てこない部分も当然あるかと思っております。いろいろ先生方からご意見頂戴したことを各所管に持ち帰って、事務改善の際にも活用していきたいと思っております。

次に資料3をお願いいたします。「当初予算における各施策の行政評価結果反映状況」でございます。こちらは、それぞれ、左から施策番号、施策、平成29年度、28年度、27年度とございますけれども、1ページに、各施策ごとの行政評価結果の反映状況をまとめてございます。各施策の事業数を記載しておりまして、施策にぶら下がる事業数、それから今回の行政評価の反映数、そして反映の事業の割合を、これもあくまで1つの目安でございますけれども、示しているところでございます。

下段の合計の欄を見ていただきますと、29年度は新規事業や廃止となった事業も含めまして、事業数としては全体で929ございました。そして、先ほど申し上げましたけれども、行政評価結果を反映したものは全体で63事業、このうち外部評価結果を反映したものが26事業となっております。ですので、全体に占める割合としましては、6.8%となっております。

次に、恐れ入ります、裏面の2ページをごらんいただきたいと思います。合計欄のところでございますけれども、こちらも施策の番号と各施策、そして平成29から27年度まで予算額、影響額、影響額の割合を示してございます。一番最後のところでございますけれども、平成29年度は、国民健康保険などの特別会計も含めまして全体で3,033億円余の予算額となったところでございます。その隣、外部評価を反映した事業の影響額につきましては、先ほどご説明いたしました39億円余、割合が1.3%になっているところでございます。こちらあくまでも予算上の目安でございますけれども、このような結果となっております。

行政評価結果の内容、それから、それを受けました29年度当初予算の内容は以上となっております。引き続き、外部評価を含みます行政評価システムの活用によりまして、効果的・効率的な行財政運営に努めてまいりたいと考えてございます。

私からの説明は以上でございます。

**○委員長** どうもありがとうございました。今のご説明につきまして、何かご質問とかご意見とかあれば、おっしゃっていただければと思います。いかがでしょうか。

この趣旨は、こういう外部評価を含めた、二次評価も含めた評価が、これだけ寄与していますよと、寄与度といいますか、こういうふうに反映してますよと。だからちゃんとPDCAの、これ、アクションですよ。我々のチェックに対して、Aがちゃんと動いてますよ、こういうことですね。その書き方を今ご紹介いただいた、こういうことでよろしいですか。

**○事務局** はい。

**○委員長** いかがでしょうか、先生方、何か。

**○委員** どうもご苦労さまでした。我々の評価結果、その後の二次評価もおやりになって、それを可能な限り反映するということですが、我々はモニターの方もおられますので、そういうものも含めながら、また個人の考えも入れながら、結局、総合評価のところ、みんなばらばらのことを実は言ったりするんですが、ちょっとその意味で、それは悪いことではなくて、むしろいいことだろうと思いつつ聞くんですけど、二次評価などで我々外部評価委員会が指摘しているこの文字、あるいは、そこで言わんとしてるものが、いささかわかりにくいとか違うんじゃないかとか、そのようなことはありましたか。あつて構わないと思うんですけど。

**○事務局** 外部評価の先生方からご議論いただいてこれは違うんじゃないかということよりは、どちらかというと、先生方からいただいたご意見をいかに具体的な事業に落とし込

んでいくかというところが我々なかなか難しいところでございまして、非常に簡単に言ってしまうと予算編成、策定などに結びついてくるわけなんです。かなり大きな視点からご意見をいただいています。実際に事業に落とし込む場合にどういうふうに落とし込むかというのが、逆に我々がちょっと難しいところなのかなと思ってございます。できる限り、委員長からおっしゃっていただいたPDCAサイクルというのは当然のことなんです。具体的にそのCAにするのはどうするのかというのがやっぱり難しいのかなと思ってございます。

○委員 そうすると、ご紹介があったクワトロなどのところは、やはり避難所とか、これ、影響を受けるのは男性がちょっと、女性、弱者という女性のところに影響するんで、例えばあそこの文字を具体的に何かできるかなとお考えになったときに、この施設というか設備の話に至ったみたいな、想像しますが、そういうことですか。

○事務局 はい。あと1つ、今回、熊本地震もあったというのが大きなところで、先生方のご指摘としては当然体験していてそうなんですけど、今回でいえば熊本地震からそういうのがあったということが1つのメリットだ。それがここに結びついたというところもありますので、そこはちょうど、いろんな予算との関係でいいますと、そういったタイミングがあるのかなというふうには思っております。

○委員 わかりました。ありがとうございます。

○委員長 そのほかいかがでしょうか。

○委員 ちょっと参考に教えていただきたいんですけども、非常によくまとめられているので感心しました。

議会とか議員さんに対しては、こういったことをどういった形で提供したのかということ、今回、議会のほうで何かこれに関してご意見とかがあったんであれば参考までに教えていただきたいんですが。

○事務局 1つ、こういった形で我々は結果をまとめて、二次評価をまとめて、全員協議会という場が議会の場であるんですけど、そういうところでお示しをして、こういう評価になっていますという形で1回お示しをする場です。実際には予算の委員会の中でそれぞれ質疑をしますので、細かいものについては各事業ごとで、施策ごとについて、各議員の方からご指摘を受ける場があって、なかなか、この評価についてどういうふうに言うとかという部分よりは、どちらかというと、予算に当たってる具体的な事業化に伴ってご意見をいただくという部分が大きかったかなと。

○委員長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。じゃあ、また何か後でご指摘がありましたらおっしゃっていただければと思います。

それでは議題1についてはこういうことで、またこれからもご質問があれば先生方のほうから事務局のほうにお願いしたいと思います。

議題2は、29年度の外部評価委員会のスケジュール（案）について、事務局からご説明いただきたい。よろしく申し上げます。

○事務局 それでは、来年度の外部評価のスケジュールについてご説明をさせていただきます。

まず資料4をお願いいたします。こちら、平成29年度の行政評価スケジュール（案）となっております。外部評価を含みます本区の行政評価全体の現時点でのスケジュール（案）となっております。全体のスケジュールとしましては、今年度28年度と同様のスケジュールを予定しているところでございます。

表の一番上の行が、外部評価のスケジュールとなっておりますけれども、5月から6月にかけて外部評価モニターの募集、決定を行います。モニターの募集につきましては、今年度と同様、無作為抽出で区民の方2,000人にご案内をお送りしてございまして、モニターとしてご参加いただける方を募る予定でございます。なお、ご参加いただく方につきましては、選挙権年齢の引き下げがございますので、20歳以上から18歳以上に引き下げたところでございます。より多様なご意見をいただきたいと思っております。

なお、今年度は2,000人無作為抽出しまして、実際にお申し込みいただいた方が112人となって、全員の方に参加をいただいたところでございます。

来年度の外部評価委員会でございますけれども、引き続き、先生方に委員としてご参加をお願いしているところでございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。委員会につきましては6月下旬に第1回を開催いたしまして、29年度の委員会運営においてお諮りをする予定でございます。その後、委員の皆様方に2班に分かれていただきまして、また各施策の関係課とのヒアリングを7月に行っていただきます。

なお、ご評価いただく施策につきましては、資料5でお示しをしております。網かけの部分でございますけれども、こちらがまだご評価いただいてない施策がございまして、今回の29年度対象となっております。3カ年で全部をやることになってございますので、今回は残った13施策となっております。各施策としましては、2つの班に分かれますので、6施策の班と7施策の班という形になると思います。ですので、回数としては3回の

班と4回の班に分かれるんですけれども、できましたら委員長のいらっしゃるA班のほうに7施策4回をお願いするという形でよろしく願いいたします。

ではもう一度、資料4のほうにお戻りをいただきたいと思います。ヒアリングをやっていただきまして、7月のころでございますけれども、正副委員長と調整をさせていただきます、外部評価結果報告書の案を作成いたしまして、評価の結果を8月下旬の委員会で委員の皆様にご提示をさせていただきます。また、取りまとめました報告書につきましては、今年度と同様に、副区長を委員長といたします、全ての部長が出席する会議体におきまして、その内容をご報告させていただきますとともに、管理職だけでなく、全職員が報告書を読むように周知徹底をまいります。

その後は、報告書を踏まえまして、区の最終評価であります二次評価を行いまして、30年度の予算編成につなげていく形になると思います。当初予算案は2月にまとまりますので、3月また来年の本会におきまして、評価結果を踏まえた予算案等についてご説明をさせていただきます。委員の皆様方につきましては、ご多忙のところまことに恐縮でございますけれども、関係課とのヒアリングも含みまして、委員会へのご出席をお願いいたします。

簡単ですが、以上でございます。

**○委員長** このスケジュールにつきまして、いかがでございますでしょうか。今度は3度目ということになりますので、やり方はあれだと思えますけれども、よろしゅうございますでしょうか。それじゃあ、2つ目の議題についても確認させていただいたということにさせていただきますと思います。

3つ目の議題ですが、他区の行政評価について、事務局からご説明いただきたいと思えます。

**○事務局** こちらなんですけれども、先生方のほうから、書式の資料の提出の改善ということでたびたびご指摘いただいております、何かここで決めるということではなくて、あくまで他区のこういったものがありますということで、先生方から本区の書式の改善等についてご意見をいただければと思っております。ただ、29年度は3年目となりますので、来年度変えるということは難しいんですが、その後のこととして先生方からご意見いただければと思えますので、よろしく願いいたします。

資料6では、他区の行政評価のシートを幾つかまとめてございます。ただ、時間の関係もございますので、近隣区のところでご説明をさせていただきたいと思えます。

まず1枚目が、足立区でございます。足立区につきましては、施策評価ということで、本区でやってございます施策の評価と、それから事務事業の評価もあわせてやっているということで、重点的な事務事業のみ二次評価をする形式となっております。その重点的な事務事業というのは、庁内評価委員会、区民評価委員会にかけるという形でございます。

簡単にちょっと書式だけご説明しますと、1枚目の上、1施策の概要ということで、その施策の概要を示してございまして、次の2の成果指標ということで、本区と同様でございますけど、成果指標ということでお示ししてございます。それから3番の投入コストということで、事業費と人件費と総事業費、そして左下では、担当部における部長の評価ということで、一次評価として内部評価がまとまっているところでございます。

裏面をごらんいただきますと、まず上段のところでございますけども、施策の手段として位置付けられる事務事業の評価結果ということで、その施策にぶら下がっているそれぞれの事務、そして、その事務に対する課長の評価ですとかその施策への貢献度が示されてございます。それを踏まえた上で、下の5として、庁内評価委員会—二次評価、そして6の区民評価委員会ということで、こちらについてはあくまで重点的な事務事業のみ二次評価をするということでございますので、ここの部分についてはされていないようでございますが、こうした形で書式を取りまとめているのが足立区でございます。

続きまして江戸川区、2枚目でございます。こちらは施策の評価ではありませんで、事務事業評価のみとなっております。一番上のところに事業名で、情報処理体制の再整備事業ということでまとめてございます。こちらの事務事業の評価についてまとめているんですが、中段をごらんいただきますと、実施状況の右側のところで、平成23年度以降の事業内容の変更点ということで、こちらは過去にやった事務事業評価がどうなっているかということを踏まえた上で、その後の変更についてまた検証するというような形をとっているところでございます。そして参考として23年度の評価。裏面をごらんいただきますと、それを踏まえた上で、最初の1つ目の○として成果指標に係る目標値の達成状況、そして内部評価、そして最後のところで外部評価として、こちら学識経験者と区民の方が組んでいるようでございますけれども、外部評価を実施している形がこの江戸川区の評価シートとなっているところでございます。

駆け足で申しわけございません、次のページが葛飾区でございます。こちらも施策ではございません。事務事業の評価となっております。一番上の事務事業名、区民保養施設提供事業でございますけども、こちらの事務事業評価を行います。基本情報として、1と

して事務事業の概要ということで、その事業の概要の説明がございまして、下の部分、実績情報として、2つの指標、1つは、1として成果指標の達成状況ということで、これはいわゆるアウトカムの部分が出てまいりまして、2として活動指標の達成状況ということで、これは多分アウトプットの部分だと思います。こういった部分の指標を両面から見ていく。そして、裏面として、コストの内訳状況、それから単位あたりコストを示してございますけれども、葛飾区につきましては3年に1度、重点評価として実績状況の評価と今後の方向性を示すと。それからまた区民参加の委員会として行政委員会を設置してございまして、課題のある事務事業等を毎年度評価しているところでございます。それが、ページでいいますと7ページの部分でございまして、3年に1度、重点評価として区民の方も含めた委員会を、行政評価委員会をやっていくというのが葛飾区になっています。

それから最後が、ページでいいますと9ページで、墨田区のものでございます。こちらでも全ての施策、事務事業を行った施策、この評価となつてございまして、全ての事務事業について評価をしているところでございます。こちらでも上のほうで見ていただきますと、まず基本の部分、一番上の部分ですが、施策がございまして、施策の目標が設定をされてございます。そして1の基本計画における成果指標として、それぞれの率が示されてございまして、そして、最後の4の今後の施策の運営方針ということで、それぞれの方向性が示されているところでございます。またちょっと戻りますけど、3の目標と現状についての分析というところで、それぞれの問題点の指摘ですとかそういったものをまとめているところでございます。

ちょっと駆け足で恐縮でございしますが、こういった形で各区とも、施策を行っているのか事務事業を行っているのか、それから施策のシートの見やすさといった部分というのはあります。これまでの過去2年間やってきてどうしても文書が多いとかあって、見やすさといった部分も少し課題かなと思ってございました。ちょっと先生方から忌憚ないご意見いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

以上でございます。

**○吉武委員長**　そういうことですが、いかがでしょうか。何か、ご質問というより、比較的、似たりよつたりの感じかもしれませんね。ですから、どっちみち29年度にやる話ではないでしょうから、今までと同じフォーマットにしてやって、それで、今回やる過程において、今日いただいたようなデータも参考にしながら、先生方からご意見もいただくということで、30年度以降のフォーマットをうまく考えるということでもよろしいかと思う

んですけども、いかがでしょうか、これについての感想とか。

○委員 委員長のこの、こちらのほうのあれでおっしゃった、結局、PDCAということなんですけれども、それぞれ違いますよね。足立区なんかは区民評価委員会が最終評価。

○委員長 そうですね、そこは違いますね。

○委員 ですから、ちょっとこれ、このシートもいいんだけど、全体の仕組みによって、やっぱりシートというのは変わってくるんだと思いますので、その点も踏まえると、どこが参考になるのかというのはちょっと違ってくるかなという感じがいたします。

しかし、それはそれとして、この他区のやつは、かなりのものが、結局、指標がどうだっていることに振り回される構造になっていると思うんですね。それで、当区のこのやり方の重要な特徴は、区民の皆さんが入られて、それで部長さんや課長さんと、間接的ですけど対話するみたいなことになっています。

したがって、そういう方々が全部ごらんになれるわけじゃありませんけれども、そういう意味での情報が多いというのが重要で、逆に言うと、既に2年、2回やって、先生方からの指標についてのご疑問などがあり、そちらのほうも総合計画の指標をさらに工夫して改めるということをやっておられて、それはそれで結構なんですけど、実際は、文字は多いんだけど、結局そこにどういうつもりでこれをやっているのかということがあらわれるという少なくとも仕掛けになっていますので、その点においては、ちょっと字は多いけど、今のものは、区が何を考えているんだということを区民の皆さんに伝えるという意味では、ほかのものより優れているというふうに思います。

逆に言うと、その指標に振り回されるということにも別にならないと思うんですね。総合計画との関係では、アカウントビリティや指標の、これ、振り回されるって変な言い方なんですけど、重要なんですけど、しかし、区民の皆さんとの間接対話という観点からいうと、今の形で、どこが大事だということを説明に当たられる部長さんたちが強調できると、ここを見てくださいと言えるということに、その余地があって、今の形のものは1つの考え方だと思うんです。

○委員長 私も、似たりよったりとか言っちゃったけど、今、先生おっしゃったとおりですね。似たりよったりというのは、ほかのところではそれほど江東区を上回って、すごい学ばなきゃいけないなということはないなという意味なんですね。だから、初めは我々もいろいろ注文つけたけども、結構いいクオリティのものをやってらっしゃるんじゃないかということかもしれませんね。今、先生のおっしゃったとおりだと私も思います。

そうは言いながら30年に向けて、その指標の定め方も含めてやるべきことがあればもっといろいろ考えたほうがいいかもしれませんね。

ほか、いかがでしょうか。

**○委員** 私の方の専門の中の公会計の関係で、資産と負債の状況をどういう形で行政評価に生かすかということで、いろいろ今部署で検討しております。他自治体とも検討はしてますけれども、そういった中で、参考になるとしたら、葛飾区さんの6ページのコスト内訳の下のところに、調整額というところが入ってます。そのところで、減価償却費、金利、退職給与引当とあるんですけども、今後これをお示しするかどうかあれなんですけれども、結果的にこの減価償却費が入ってるということは、資産を使ってるということで、減価償却費の金額に応じてどれだけ大きな資産を使ってるかということがわかるということになるし、金利というところに負債の部分の借金をしてやってるようであれば、この金利の金額が出てくるのかなと思うし、退職給与引当金等については、職員の人件費というものを発生主義の考えの引当金を含めて計上されているという、たまたまこの事例は貸し付けの事業なので載ってないんですけども、そうでない事業だとしたら、おそらくこれ入ってるかなというのもあるので、今後こういったデータをもし、トータルコストという形で江東区さんは示してるんで、この考え方の中にそういったものも、欄を設ける設けないは別にして、今後トータルコストの中に発生主義的な経費を、表現とすると調整額となるのかどうかわかりませんが、そこはちょっと検討していただければいいのかなと思ってます。

**○委員長** とても大事な視点ですね。どうもありがとうございます。またそれを検討の視点にぜひ加えていただきたいと思います。

そのほかいかがでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。それでは、第3議題につきましても、これで終了させていただきたいと思います。

それじゃあ、今日、ほんとにお忙しい中、お時間いただきましてありがとうございます。またこれから、スケジュールについては事務局のほうから日程調整をさせていただければと思います。

何か事務局からありますか。

**○事務局** それでは、私の方から一言ご挨拶させていただきたいと思います。

こちらの評価、2年目ということで、私ども、行政評価の目的というのは、評価結果に基づいて、時代の変化に対応した効率的・効果的な行財政運営を実現されることなんです

けども、私は個人的には、前回それから今回の特に外部評価いただいて、その視点とかその姿勢というんですか、それが、こういった形で評価をいただきながら、きちっと外の意見を聞いた中で仕事を進めることというのは当たり前というのが、組織の中に全庁的に浸透することが、行政評価、もしくは外部評価の一番大きな効果だと思っております。

先ほど、個々の事業に落としますと、全然ちょっと、数値等でご意見あったんですけども、あそこにあられていないことがたくさんあると思うんですね。というのは、ご評価いただいたり、部長等と、課長等とやりとりをしていただいた中で、確実に部課長の中に落ちているものがあって、それが評価結果に出てまいりませんが、新たな取り組みとか意欲とかそれから予算要求等に出ているというのは、私ども実感しております。

もう一つ大事なものは、私ども、計画とか企画それから財政が全部そろっておりますけども、全過程の中でみんな出てございますから、いただいたご意見ややりとりを踏まえた中で、予算の査定なり計画をつくる中には必ず落ちてございます。それは、私、全部見てございますので、それはとても大事ななというふうに思っております。

要するに外から、特に区民のモニターの方たちの厳しいご意見、温かいご意見も、やっぱりそれがあるということ意識して事業部も私どもも仕事を進めている流れができつつあることについては、先生方にも感謝申し上げたいですし、私どもも、そうだなというふうに思うようになってきたなというふうに思っております。気づきとか実感するというのを理事者、特に管理者等々が、事業課も含む私どももそうなんですけども、感じているところだと思っております。それが、予算なり、もしくは行財政運営の全体にあられていけばありがたいなというふうに思っております。

今、豊洲市場の問題がありますけど、それからもう一つ申し上げますと、オリンピック・パラリンピックについては、うちの区は非常に当事者でございます。そうすると、それまでの形、きっかけというか、1つのハードルなのかもしれませんが、それがあってどんな形で行財政運営を着実に、子供の問題も、高齢者の問題も、一番区がやらなきゃいけない仕事をきちっととらまえてやれるかというのが、私はやっぱり一番大事なことかなと思っております。

とはいいいましても、うちの区は遅れてまいりますが、多分20年後、30年後には、他の地方の自治体と同じように人口減が必ずやってまいります。局所的には減らないけれども、むしろこちらに局所的に減る中でのアンバランスな地区全体の行財政のニーズなり事情をどういうふうにやっていくんだというのは、ある意味、ほかの自治体にも支援も出さなき

やいけないですし、仕組みも出さなきゃいけないと思ってございます。

うちの区がどうかと考えますと、今その時期にあるというふうに思っております。行政評価を通して見た場合に、基本構想があつて、長期計画があつて、各部門別計画があつて、人事のほうでは研修計画だ、人材育成とかつくってございますけど、ばらばらなんじゃなくて、トータルで物を見たときに、私ども、外に何が言えて、何が江東区だつて、なかなかできてございませんでした。一生懸命、事業を追っていくと、一生懸命つくって、今の基本構想、一生懸命つくりました。ただ、それは土台になっていって、次の長期計画なり、それぞれの施策の取り組みするときに、やはり横串で刺せていけるような、トータルで物が説明できて、じゃあ江東区政、江東区民も一緒なところでどうするのかというこの議論ができていくような土台が、おかげさまでほとんどできているのかな。

私、先ほどシートの説明がありまして、ほかの区よりいいというご評価を頂戴しましたけども、実は成果指標を使ってきちっと説明できる行政評価というのは作り始めるときには思っていたんですけども、ぴしっと物差しでという、教科書なんていう、それで指標が悪くと言われるとどうしようかって。ただ、いいんだというふうに思っていないんですけども、ツールであるということをやっぱりきちっと自覚しなきゃいけないと思います。だったら、何が大事かという、わかりやすいことがとても大事なんだと思います。

あと、説明責任ということで、文章が多くなりますけども、所管がきっちり書き切ると。部長が責任を持って言い切る。もしくは5年後について、きちっと考えたことを言い切ってもら。文章がいいか悪いかというのはあるんですけども、それがとても大事なわけで、今日もやっぱり実感をいたしましたし、そんなふう感じております。

なので、私ども、夏の暑い盛りのところに各所管でご議論いただくのはとても大事だと思っておりますし、ただただ個々の施策ではなくて、例えば、今回、子供の貧困調査の話がございまして、今の、要するに外が言ってること、それを区の中でどういうふうな形で、大きな政策的な課題についても考え、もしくは組織を変えてということで、そういった芽をどんどん、ご指摘あるいはご意見を頂戴して、私どもの区がもっともっと、刺激なりしていただければ、そういった中で、私ども親近感のほうが、次の時代、次の施策に結びつく、ほんとに実感してございますので、今回、今日ご説明しましたんですけども、一人一人が違ってるというふうに思っております。それは、所管も違っていますし、予算でどうこうというよりも、それが動いていることについては今回ご報告したいと思つてご

ございます。

また引き続き来年度もよろしく願いいたしまして、いっぱい刺激をいただいて、まじめにとらまえて次々というふうに、うちの区が伸びていけるように力をいただければと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員長 どうもありがとうございました。それでは、よろしゅうございますでしょうか。

じゃあ、スケジュール調整についてはまた。はい。じゃあ、最後に何かありましたら。

○事務局 また来年度の日程調整につきましては別途連絡させていただきますので、どうぞよろしく願います。

以上でございます。

○委員長 どうも今日はありがとうございました。

午後 8時 00分 閉会